

発電所構内道路におけるトレーラーの油圧系統からの油漏れについて

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 21 年 3 月 20 日午前 5 時 25 分頃、発電所構内において移送作業をしていたトレーラーの油圧系統から、約 20 リットルの油が漏れていることを発見したため、漏れた油を拭き取り、その後、消防署へ連絡しました。
- ・消防署からは、危険性はないと判断されました。

(原因・対策)

- ・油は、トレーラーの荷台の高さを調整するための油圧系統の油ポンプと配管との接続部から漏れており、接続部のパッキンを取り替え、油漏れがないことを確認しました。
- ・今後、定期的に当該接続部の点検を行います。

(外部への放射能の影響)

- ・外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 21 年 3 月 20 日午前 5 時 25 分頃、発電所構内において 6 号機の主タービン取替工事における撤去品を 4 号機タービン建屋に移送する作業を行っていたトレーラーの油圧系統から、約 20 リットルの油が道路上に漏れていることを、移送作業を行っていた協力企業作業員が発見し、トレーラーを停止させました。

トレーラーのエンジンを停止させたことにより油漏れは止まりましたが、停止させた場所が坂道であったことから、積み荷の安全を確保したうえで、漏れた油が拡がることを防ぐために、すぐに拭き取り作業を行いました。

その後、午前 7 時 33 分、当直長が消防署に連絡を行い、現場確認をしていただいたところ「危険性はない」と判断されました。

2. 原因・対策

トレーラーを点検したところ、荷台の高さを調整するための油圧系統の油ポンプと出口配管との接続部から油が漏れており、当該接続部の点検を行ったところパッキンが破損していたことを確認しました。

その後、破損していたパッキンの交換を行い、油の漏れがないことを確認しました。

今後、当該接続部については定期的に点検を行い、パッキンの取り替えを行います。

3. 外部への放射能の影響

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

事象の発生状況図



破損したパッキン



漏えい箇所

油ポンプ



油圧駆動部

